

青い地球は誰のもの

作家

よい子に読み聞かせ隊 隊長

志茂田景樹



私たちの世代は、地球の環境を大きく破壊してきた世代です。その代償として豊かさを得てきたように見えますが、それはいつかのことで、すでに私たちは豊かさよりはるかに尊いものを失いつつあります。

不幸中の幸いを強いて言えば、私たちの世代がそのことを思い知らされているということでしょうか。

私たちが失わせてきたものを、私たち自身の手で取り戻すにはもはや時間が足りないかもしれません。

しかし、私たちは“いのち”に優しい環境を取り戻すための魔法の宝を持っています。

それは子どもたちです。

私は「よい子に読み聞かせ隊」を結成してしばらくは絵本の読み聞かせを通して子どもたちになにを伝えていくかで迷いました。絵本は読み聞かせることによって子どもたちに感動をあたえ、それを通して人間として生きていくために大切に、欠かすことのできないものをメッセージとして伝えることができます。そのメッセージは数え切れないほどあるでしょうが、私と「よい子に読み聞かせ隊」が今の子どもたちになにを強く強く伝えていくべきかを真剣に考えぬいたのでした。

そうして試行錯誤はありましたが、私と「よい子に読み聞かせ隊」は、今の子どもたちに絵本での読み聞かせで得られる感動を通して命がどんなに尊いものかを、そして、生きることがどんなに素晴らしいことかを伝えていこう、という結論に達しました。以来、十一年間、一貫してその二点を伝え続けています。

豊かな自然が人間を、そして、その他のすべてのいのちを養うことを子どもたちが知れば、やがて、この地球は過去にいちばん美しく輝いていたときよりも、さらに美しく輝くと確信しています。



志茂田景樹

